

プール及び野外活動施設等の見直しに係る  
方針について

平成 27 年 10 月 30 日  
横浜市



## はじめに

平成 22 年度の「横浜市事業評価会議」及び 23 年度の「横浜市公共施設のあり方検討委員会」で、本市が所有するプール及び野外活動施設等の効率的、効果的な運営及び施設のあり方についてご提案をいただきました。この提案を踏まえ、市民や市会の皆さまからもご意見をいただきながら、24 年 8 月に「プール及び野外活動施設等の見直しに係る基本的な考え方」（以下、「基本的な考え方」と言う。）を策定し、プール及び野外活動施設等を取り巻く環境や現状と課題、見直しの考え方などをまとめました。

プール及び野外活動施設等の見直しに係る方針は、この「基本的な考え方」に基づき、プール及び野外活動施設等の見直しを進め、各施設の利用状況や施設配置等を踏まえ、各施設の方針をまとめたものです。

厳しい財政見通しの中、社会状況や市民ニーズの変化に適切に対応していくためには、サービスの選択と集中が不可欠です。

今後は、この方針に基づき、施設の集約化等に取り組むとともに、必要な行政サービスを持続的に提供していきます。

### 1 対象施設

市内プール	屋内	余熱プール等（都筑、旭、リ初金沢、ふれーゆ）、 <b>旧余熱プール</b> （港南、栄、保土ヶ谷）、その他屋内プール（西スポーツセンター、清水ヶ丘、日産ウォーターパーク、横浜国際）
	屋外	<b>公園プール</b> (28 か所)、 <b>その他屋外プール</b> （本牧市民、横浜プールセンター）、 <b>学校プール</b> (510 か所)
野外活動施設等	野島青少年研修センター、 <b>青少年野外活動センター</b> （三ツ沢公園、こども自然公園、くろがね、道志）、 <b>上郷・森の家</b> 、 <b>少年自然の家</b> （赤城林間学園、南伊豆臨海学園）	

※太字は、「基本的な考え方」において、施設の存廃や集約化等の方針を 24 年度末又は 26 年度末までに検討することとしている施設

※学校プールは、学校の統廃合等により、平成 27 年 4 月現在、503 か所となっています。

### 2 「基本的な考え方」における各施設の見直しの考え方（総論）

- (1) 安全性の問題がある施設等を除き、利用促進策として、施設の周知（PR）や魅力づくりなどを行います。また、経営改善策として、利用料金の改定の検討やコスト削減などを行います。
- (2) (1) を行った上でなお改善が見込めない施設については、施設の集約化、廃止など施設の選択と集中を図ります。なお、個々の施設の存廃については、施設ごとに具体策を決定します。
- (3) 施設の選択と集中にあたっては、施設の設置の経緯、利用状況、施設配置、コスト、安全性等を踏まえ、方針を決定します。ただし、施設の状況によっては、民間活用の可能性を検討した上で、方針を決定します。また、利用状況やコスト状況などの情報を積極的に発信します。
- (4) 施設の選択と集中にあたっては、利用者や地域の方の意見や消防水利等防災上の位置づけを踏まえつつ、利用者に配慮した代替策や跡地利用策などを検討します。
- (5) 施設の集約化や廃止の時期は、施設の老朽度や利用状況等を踏まえ、決定します。なお、決定にあたっては、利用者に配慮した時期となるよう検討します。

### 3 各施設の方針

#### (1) プール

##### ア プール全体

- (ア) 「基本的な考え方」において、施設の存廃や集約化等の方針を 26 年度末までに検討することとしている施設について、利用状況、コスト、配置等を評価した結果を踏まえ、各施設の方針を決定します。
- (イ) 上記以外の施設及び上記施設で当面存続することとなった施設については、民間活力を活用した運営手法の導入や利用料金の改定など、さらなる利用促進・経営改善を検討するとともに、必要に応じて再整備等を検討します。
- (ウ) 今後、当該施設や周辺の公園プールや学校などの施設で大規模な投資を行う場合等には、再編整備検討専門会議※において、これらの周辺施設との集約化を検討します。併せて、より効率的な運営形態等について検討します。
- (エ) 施設の集約化や廃止の時期は、施設の老朽度や利用状況を踏まえつつ、利用者に配慮した時期となるよう決定します。
- (オ) 廃止する際は、利用者や地域の方の意見や消防水利等防災上の位置付けを踏まえつつ、利用者に配慮した代替策や跡地利用策などを検討します。

##### イ 旧余熱プール（港南プール、栄プール）

利用状況、コスト、配置等を評価した結果を踏まえ、港南プールについては存続とし、栄プールについては、施設の大規模な改修等の際に、港南プールへ統合します。  
なお、港南プールは耐震工事を実施し、工事期間中は一時休館します。

##### ウ その他屋外プール（本牧市民プール、横浜プールセンター）

両施設とも利用状況、コスト、配置等を評価した結果を踏まえつつ、施設の設置の経緯に配慮し、存続とします。  
なお、両施設とも、老朽化が著しいことから再整備の検討を行います。

##### エ 公園プール

- (ア) 鶴見区・神奈川区・港北区エリア、中区・磯子区エリア、西区・南区・保土ヶ谷区エリアの3エリアについて、利用状況、コスト、配置等を評価した結果を踏まえ、潮田公園プールと平安公園プール及び芦名橋公園プールと磯子腰越公園プールについては、集約の対象とします。集約にあたっては、当該プールの大規模な改修、又は徒歩等で容易に移動できる圏内に立地する小学校の建替え等の際に、再編整備検討専門会議に諮り、公園プール同士の集約、又は学校プールへの集約について検討します。
- (イ) 他の屋外公園プールについても、徒歩等で容易に移動できる圏内に立地する小学校の建替え等の際に、再編整備検討専門会議に諮り、学校プールへの集約について検討します。
- (ウ) 現在休止中の上飯田西公園プールについては、平成 27 年度から、地域の意見等を踏まえながら、跡地利用計画の策定に着手し、順次、設計、工事等を進めます。

※再編整備検討専門会議：施設の多目的利用や複合化等の再編整備を検討する庁内の専門会議

## オ 学校プール

(ア) 中学校プールの拠点校方式については、モデル事業等による検証の結果、想定以上に移動時間や付添人員を要し、現行の水泳授業水準の維持が困難であること、また、他の授業カリキュラムへの影響や学校職員への負担も大きいことなどから、見直します。

今後は、小学校と中学校の敷地が隣接している学校や、市所有のプールが学校の至近にある学校について、当該学校の建替えや大規模改修等の際に、学校規模や施設の状況等を勘案しながら共同利用の可能性を検討します。検討の結果、授業及び児童・生徒の引率等に支障がないことが確認された場合は共同利用を推進し、困難な場合には、これまでどおり学校内にプールを整備することとします。

(イ) 小学校に近接して屋外公園プールがある場合は、当該小学校の建替え等の際に、再編整備検討専門会議に諮り、学校プールへの集約について検討します。

## (2) 野外活動施設等

### ア 青少年野外活動センター【市内】(三ツ沢公園、こども自然公園、くろがね)

利用状況・経営状況を踏まえ、存続することとし、今後も青少年の自然体験活動を推進する拠点施設として、3か所の青少年野外活動センターそれぞれの特色を生かせるような運営の工夫、施設改修等を行っていきます。

### イ 青少年野外活動センター【市外】(道志)【24年度末に方針決定】

(ア) 24年度末にキャンプ場を廃止し、25年度から代替策(村内キャンプ場の市民優待サービス)を開始

(イ) スポーツ広場の建物は、道志村に無償譲渡

### ウ 上郷・森の家【24年度末に方針決定】

市民の身近な宿泊施設としてのサービス向上、横浜自然観察の森、金沢動物園と連携した魅力的なプログラムの開発、閑散期の集客対策をはじめとした経営改善を図るため、民間ノウハウを活用した運営方法について検討を開始

### エ 少年自然の家(赤城、南伊豆)【24年度末に方針決定】

(ア) 25年度末に赤城林間学園のキャンプ場を廃止し、25年10月に赤城林間学園が所在する昭和村と友好交流協定を締結し、交流を推進

(イ) 引き続き、両施設の利用促進及び経営改善に努めます。

保護者の経済的負担を考慮し、横浜市立小・中学校が低料金で利用できる施設として、両施設を継続して運営します。

また、小・中学校が利用しない時期に、高校や大学等を含めた団体利用など、利用者の拡大に引き続き努めます。

【参考1】

■ プール施設の評価結果

「基本的な考え方」において、施設の方針を26年度末までに検討することとしているプール施設（旧余熱プール、3エリア（鶴見区・神奈川区・港北区エリア、中区・磯子区エリア、西区・南区・保土ヶ谷区エリア）の公園プール、その他屋外プール）については、「基本的な考え方」を踏まえ設定する評価項目に基づき、各施設の評価を行いました。

(1) 評価項目

「基本的な考え方」を踏まえ、次の3つの評価項目を設定します。

- 施設配置
- 施設の利用状況
- 施設のコスト

(2) 評価指標及び評価基準

3つの評価項目に対して、それぞれ評価指標、評価基準を設定します。

なお、施設配置の評価については、特にプールが近接しているエリアであるため、施設利用状況調査結果における利用者の意向（近隣代替施設までの距離）を考慮し、評価基準を設定しました。

評価項目		評価指標	評価基準	
施設配置		近隣の代替施設までの距離	公園プール：1km 超 その他：3km 超	○
			公園プール：1km 以内 その他：3km 以内	×
施設の利用状況		1 営業日当たりの利用者数の、 20～22 年度の3 年平均実績に対する 24～26 年度の3 年平均実績の増減率	+10%超	○
			+10%～▲10%	△
			▲10%超	×
施設のコスト	A 税負担	利用者1 人当たりの税負担額の、 24～26 年度の3 年平均実績	税負担額 500 円以下	○
			500 円超～1000 円以下	△
			1000 円超	×
	B 収支	運転資金に占める使用料等の割合の、 24～26 年度の3 年平均実績	公園プール：30%超 その他：50%超	○
			公園プール：15%超～30%以下 その他：25%超～50%以下	△
			公園プール：15%以下 その他：25%以下	×

(3) 評価結果

● 旧余熱プール

栄・港南工場は18年度には廃止されており、設置当初の地元還元施設という位置付けはなくなっています。

工場の廃止に伴い、両施設とも運営にあたっては年間2千万円程度のボイラー用燃料代等が必要となっており、税負担が高額となる傾向にあります。港南プールに比べアクセスがしにくい栄プールについては、利用者が少ない状況にあります。

施設配置については、相互に代替施設となり得る距離にあります。

施設名	評価項目			
	配置	利用状況	コスト	
			A 税負担	B 収支
港南プール	×	△	△	○
栄プール	×	×	×	△

● その他屋外プール

埋立てに伴う代替として施設を整備しており、両施設とも老朽化が著しいですが、利用状況、コスト等について、旧余熱プールや公園プールと比較すると、評価が高くなっています。

また、近隣に代替施設はありません。

施設名	評価項目			
	配置	利用状況	コスト	
			A 税負担	B 収支
横浜プールセンター	○	△	○	○
本牧市民プール	○	△	△	○

● 公園プール

配置については、屋外公園プールの多くが、近隣の小学生以下の子供たちが、徒歩や自転車で来て利用する地域に根付いた施設であるため、利用状況調査を踏まえ、徒歩や自転車で容易に移動できる距離（1km以内）に同様な機能を有する平安公園プールほか3プールで評価が低くなっています。

利用状況については、菊名池公園プールほか1プールで評価が低くなっています。

税負担及び収支については、子供用プールのみ白幡仲町公園プールほか3プールでは評価が低くなっています。

エリア	施設名	評価項目			
		配置	利用状況	コスト	
				A 税負担	B 収支
鶴見区・神奈川区・港北区エリア	平安公園	×	○	△	△
	潮田公園	×	△	×	×
	岸谷公園	○	△	△	△
	入江町公園	○	△	△	△
	六角橋公園	○	△	△	△
	白幡仲町公園(子供用プールのみ)	○	△	×	×
	菊名池公園	○	×	△	○
中区・磯子区 エリア	森町公園	○	△	×	△
	磯子腰越公園	×	△	×	×
	芦名橋公園(子供用プールのみ)	×	△	×	×
西区・南区・保土ケ谷区エリア	岡野公園	○	△	△	△
	川辺公園	○	×	×	△

【参考2】

■ これまでの取組

「基本的な考え方」の施設分類ごとの「見直しの考え方」を踏まえ、パンフレットやチラシ等を活用した横断的な広報活動による施設の周知（PR）や新たなイベント・プログラムの実施等による魅力づくりを行うとともに、効率的な運営に努めるなど、利用促進、経営改善の取組を推進しました。さらに、利用促進や方針の検討に必要な調査等を実施しました。

(1) プール施設

施設分類	26年度に行った取組
プール全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市連会・区連会（6月定例会）を通じて、プール及び野外活動施設等の利用促進への協力を地域へ依頼するとともに、全区の自治会町内会への班回覧（「横浜市プールガイド」11万部）を実施</li> <li>○「横浜市プールガイド」の配付・配架を拡大（計20万部）（市立小学校の全児童への配付、区役所への配架に加え、新たに地区センター80か所、スポーツセンター18か所、PRボックス29か所等に各100部ずつ程度配架）</li> <li>○広報よこはま市版・区版へのプール特集記事の掲載</li> <li>○プール施設利用状況調査を実施</li> </ul>
旧余熱プール （港南プール 栄プール）	<ul style="list-style-type: none"> <li>【共通】</li> <li>○市民利用施設への施設PR実施、HP情報の充実</li> <li>○新規イベント（港南プール40周年記念イベント、栄プール：ランニング教室）実施</li> <li>【港南プール】</li> <li>○民間広報誌への施設紹介記事掲載</li> <li>○スポーツスタジオの個人利用を開始</li> <li>○物販の充実、教室事業の拡大</li> <li>【栄プール】</li> <li>○スポーツスタジオ新設</li> </ul>
公園プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各指定管理者が作成したイベント等が記入されたプールチラシを各プールの近隣小学校・保育園等へ配付</li> <li>○指定管理者に対し、従来の自主事業の実施に加え、さらに集客が望める自主事業の提案を依頼し、実施例：幼児を対象とした水泳レッスン、水泳ワンポイントレッスン、救急救命講習、プールスタンプラリー 流れるプールを作って遊ぼう、駄菓子等の販売、プレオープニングイベント 等</li> </ul>
その他屋外プール （本牧市民プール 横浜プールセンター）	<ul style="list-style-type: none"> <li>【共通】</li> <li>○民間雑誌への施設紹介記事の掲載</li> <li>○市営バス乗車券とのセット券販売実施</li> <li>○食堂のメニュー充実</li> <li>【横浜プールセンター】</li> <li>○広報番組での施設紹介</li> <li>○アトラクション（ウォーターボール）</li> <li>【本牧市民プール】</li> <li>○中スポーツセンターと連携した水泳教室の実施</li> <li>○教室事業・イベントの拡大、</li> <li>○各種アトラクション（フラダンスショー開催、ウォーターチューブ、バンド生演奏開催 等）</li> </ul>
学校プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あかね台中学校における拠点校方式モデル事業の課題の精査</li> <li>○学校水泳授業での本市所有プールや民間プール等の活用の可能性を調査・検討</li> </ul>



(2) 野外活動施設等

施設分類	26年度に行った取組
青少年野外活動センター【市内】 (三ツ沢公園 こども自然公園 くるがね)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市連会・区連会（6月定例会）を通じて、プール及び野外活動施設等の利用促進への協力を地域へ依頼</li> <li>○広報よこはま、自施設のホームページ等を活用したPR活動</li> <li>○新たに、施設PRと体験プログラムを広く周知するための「野外活動施設等の案内リーフレット」を作成し、市立小学校の全児童へ配付・関係施設等への配架（計19万部）</li> <li>○季刊広報リーフレット「自然と遊ぼう」を、市立小学校の全児童へ配付（秋冬号 約18万部）</li> <li>○閑散期や平日の空き時間の有効活用を図るため、施設を拠点としたウォーキングマップを作成し、シニア層向けの健康づくりと野外活動を同時に楽しめるプログラムの開発等を実施</li> </ul>
上郷・森の家	<ul style="list-style-type: none"> <li>○閑散期の平日割引プラン等、様々な特別プランを設定。</li> <li>○インターネット予約の導入。</li> <li>○電話予約受付時間の延長（9～17時 → 9～21時）</li> <li>○バーベキューサービスの拡充（手ぶらでバーベキュー、貸出時間の延長）</li> </ul>
少年自然の家 (赤城林間学園 南伊豆臨海学園)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【市立学校】</li> <li>○教員対象の宿泊体験会の企画や、校長会や学校訪問による説明、パンフレットやチラシの配付</li> <li>【市外の学校】</li> <li>○学園の近隣市町村の学校に出向いて説明するほか、パンフレットやチラシの配付</li> <li>【一般利用】</li> <li>○市連会・区連会（6月定例会）を通じて、プール及び野外活動施設等の利用促進への協力を地域へ依頼</li> <li>○広報よこはまや横浜市体育協会のホームページ等を活用した広報</li> <li>○新たに、施設PRと体験プログラムを広く周知するための「野外活動施設等の案内リーフレット」を作成し、市立小学校の全児童への配付・関係施設等への配架（計19万部）</li> <li>○季刊広報リーフレット「自然と遊ぼう」を、市立小学校の全児童へ配付（秋冬号 約18万部）</li> <li>○新たなプログラムの実施、個人利用プランの拡大</li> <li>【効率的な運営】</li> <li>○委託料の見直し等による維持管理費用の削減</li> <li>○衛生用品や事務用品などの消耗品費の削減</li> <li>○統廃合により使用されなくなった近隣小学校の体育館・グラウンド、武道館の無償利用</li> </ul>

【参考3】

■ 各施設の利用状況

(1) プール施設

26年度は、前年度以上に広報・PR等の利用促進に取り組んできましたが、プール施設全体の利用者数は、2,244,831人で、前年度に比べ3.3%減少しました。一部の施設については、修繕による休館等の影響で利用者が減少していますが、特に屋外プールについては、例年に比べ、夏期に悪天候の日が多かったため、利用者が伸び悩んだものと考えられます。

【プール】施設別年間利用者数の推移（平成21年度～平成26年度）

(単位:人)

施設名	所在区	ピーク時※		実績							H25/H26		備考		
		年度	利用者数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	増減数	増減率				
屋内	余熱・旧余熱	ふれーゆ ※3	鶴見区	H11	207,509 (335,011)	161,976 (259,335)	161,124 (252,572)	169,199 (260,477)	181,594 (273,407)	159,612 (236,135)	166,111 (252,463)	6,499 (16,328)	4.1% 6.9%	修繕等のための休館あり(H25)	
		港南プール ※3	港南区	S52	268,894 (268,894)	138,529 (138,529)	127,637 (127,637)	124,981 (124,981)	125,634 (125,634)	122,851 (123,474)	117,262 (118,152)	▲ 5,589 (▲ 5,322)	▲ 4.5% ▲ 4.3%		
		保土ヶ谷プール ※3	保土ヶ谷区	S59	205,673 (205,673)	97,489 (99,214)	89,009 (90,511)	90,315 (91,746)	90,689 (92,068)	88,343 (90,220)	89,462 (94,965)	1,119 (4,745)	1.3% 5.3%		
		旭プール ※3	旭区	S52	330,535 (330,535)	120,359 (124,189)	123,260 (129,320)	114,323 (120,940)	109,455 (116,637)	111,194 (119,143)	92,244 (99,520)	▲ 18,950 (▲ 19,623)	▲ 17.0% ▲ 16.5%	修繕等のための休館あり(H26)	
		リネット金沢 ※3	金沢区	H18	166,304 (213,928)	149,016 (187,895)	133,209 (166,324)	122,563 (153,081)	120,078 (149,868)	122,338 (156,801)	122,754 (162,701)	416 (5,900)	0.3% 3.8%		
		都筑プール	都筑区	H2	320,417	150,064	147,463	132,420	164,041	143,109	151,219	8,110	5.7%	修繕等のための休館あり(H25)	
		栄プール ※3	栄区	S54	204,378 (204,378)	60,485 (60,710)	60,188 (60,188)	72,517 (72,517)	77,121 (77,121)	74,225 (74,225)	73,558 (73,558)	▲ 667 (▲ 667)	▲ 0.9% ▲ 0.9%		
		西スポーツセンター ※3	西区	H26	143,121 (316,083)	77,137 (202,879)	105,296 (234,298)	105,526 (249,371)	133,317 (291,292)	140,945 (303,374)	143,121 (316,083)	2,176 (12,709)	1.5% 4.2%		
		清水ヶ丘公園プール	南区	H11	99,248	68,935	66,531	65,679	65,264	67,788	64,371	▲ 3,417	▲ 5.0%		
		日産ウォーターパーク	港北区	H16	225,894	163,861	165,114	153,328	139,966	152,576	165,398	12,822	8.4%	修繕等のための休館あり(H25)	
横浜国際プール ※3	都筑区	H21	585,473 (933,484)	585,473 (933,484)	477,056 (796,950)	389,851 (636,822)	410,210 (673,770)	489,748 (752,100)	500,929 (791,426)	11,181 (39,326)	2.3% 5.2%	震災による施設破損のための休館あり(H23)			
屋外	公園	潮田公園	鶴見区	H7	34,849	11,956	14,828	11,157	11,269	12,716	11,786	▲ 930	▲ 7.3%	3エリア(鶴見・神奈川・港北)	
		平安公園	鶴見区	H7	28,437	11,347	13,031	10,938	10,344	14,850	13,450	▲ 1,400	▲ 9.4%	3エリア(鶴見・神奈川・港北) 隣接市の公園プール閉鎖(H25)	
		岸谷公園	鶴見区	H7	35,081	14,002	17,452	12,701	13,817	13,653	12,305	▲ 1,348	▲ 9.9%	3エリア(鶴見・神奈川・港北)	
		入江町公園	神奈川区	H7	29,920	14,132	15,405	13,889	16,296	15,164	10,465	▲ 4,699	▲ 31.0%	3エリア(鶴見・神奈川・港北)	
		白幡仲町公園	神奈川区	H7	18,398	6,939	8,990	5,749	7,410	7,751	7,930	179	2.3%	3エリア(鶴見・神奈川・港北)	
		六角橋公園	神奈川区	H7	25,517	12,522	15,861	12,006	12,577	12,960	12,100	▲ 860	▲ 6.6%	3エリア(鶴見・神奈川・港北)	
		岡野公園	西区	H7	23,825	11,289	14,172	10,409	12,166	12,302	12,369	67	0.5%	3エリア(西・南・保土ヶ谷)	
		元町公園	中区	H7	56,358	26,603	44,767	29,001	35,814	36,965	34,634	▲ 2,331	▲ 6.3%		
		弘明寺公園	南区	H7	36,743	17,685	21,252	14,354	17,663	17,724	14,579	▲ 3,145	▲ 17.7%		
		中村公園	南区	H7	21,683	14,323	20,231	15,197	17,240	15,522	13,043	▲ 2,479	▲ 16.0%		
		野庭中央公園	港南区	H7	41,878	16,584	21,991	16,649	19,813	20,291	16,897	▲ 3,394	▲ 16.7%		
		川辺公園	保土ヶ谷区	H7	50,528	19,020	26,319	13,973	12,873	12,935	10,792	▲ 2,143	▲ 16.6%	3エリア(西・南・保土ヶ谷)	
		大貫谷公園	旭区	H7	38,222	11,773	12,873	9,501	13,904	12,907	8,242	▲ 4,665	▲ 36.1%		
		鶴ヶ峰本町公園	旭区	H7	29,153	11,503	16,078	10,693	12,696	10,353	9,881	▲ 472	▲ 4.6%		
		戸名橋公園	磯子区	H7	7,455	2,716	3,682	2,324	3,295	3,275	2,649	▲ 626	▲ 19.1%	3エリア(中・磯子)	
		様子渡越公園	磯子区	H7	22,489	10,651	14,372	10,138	11,258	11,287	9,614	▲ 1,673	▲ 14.8%	3エリア(中・磯子)	
		森町公園	磯子区	H7	20,935	10,296	14,009	10,647	10,117	11,240	10,000	▲ 1,240	▲ 11.0%	3エリア(中・磯子)	
		洋光台南公園	磯子区	H7	34,731	13,687	14,470	10,148	12,820	12,687	10,628	▲ 2,059	▲ 16.2%		
		富岡八幡公園	金沢区	H7	44,176	12,019	13,525	10,220	13,371	12,618	11,585	▲ 1,033	▲ 8.2%		
		菊名池公園	港北区	H7	100,495	42,812	53,028	37,374	41,459	38,609	34,010	▲ 4,599	▲ 11.9%	3エリア(鶴見・神奈川・港北)	
		網島公園	港北区	H7	40,957	15,502	19,827	13,915	14,053	16,934	11,660	▲ 5,274	▲ 31.1%		
		千草台公園	青葉区	H7	29,186	20,816	28,166	15,753	20,457	20,538	16,213	▲ 4,325	▲ 21.1%		
		茅ヶ崎公園	都筑区	H7	52,475	22,042	29,308	15,079	17,452	16,747	13,349	▲ 3,398	▲ 20.3%		
		山崎公園	都筑区	H7	58,619	23,920	29,715	16,707	21,294	20,657	14,230	▲ 6,427	▲ 31.1%		
		大坂下公園	戸塚区	H7	24,794	19,220 ※1	25,559	18,430	20,702	21,587	20,377	▲ 1,210	▲ 5.6%		
		しらゆり公園	泉区	H7	40,481	19,541	24,721	17,807	21,221	19,324	17,829	▲ 1,495	▲ 7.7%		
		上飯田西公園(休止中)	泉区	H7	20,508 ※2	1,160	—	—	—	—	—	—	—	—	
		宮沢町第二公園	瀬谷区	H7	26,364	12,530	16,670	11,023	12,177	12,671	9,926	▲ 2,745	▲ 21.7%		
		小計		H7	994,257	426,590	550,402	375,782	433,558	434,267	370,543	▲ 63,724	▲ 14.7%		
		その他	本牧市民プール ※3	中区	S50	274,397 (274,397)	79,253 (81,335)	109,701 (113,200)	74,049 (76,740)	76,269 (79,036)	85,240 (87,694)	73,115 (75,068)	▲ 12,125 (▲ 12,626)	▲ 14.2% ▲ 14.4%	3エリア(中・磯子)
						327,757 (327,757)	109,862 (110,045)	172,159 (172,455)	114,279 (115,095)	130,345 (131,767)	128,865 (130,462)	114,744 (116,693)	▲ 14,121 (▲ 13,769)	▲ 11.0% ▲ 10.6%	3エリア(中・磯子)
						横浜プールセンター ※3	磯子区	S42	—	—	—	—	—	—	—
		計(通年)				2,389,029 (3,007,065)	2,488,149 (3,072,965)	2,104,812 (2,628,979)	2,257,541 (2,813,429)	2,321,101 (2,871,366)	2,244,831 (2,852,160)	▲ 76,270 (▲ 19,208)	▲ 3.3% ▲ 0.7%		
						7月平均最高気温 28.4℃ 31.0℃ 30.7℃ 29.4℃ 30.4℃ 30.1℃									
						8月平均最高気温 29.9℃ 32.7℃ 31.4℃ 32.4℃ 32.7℃ 30.5℃									
						屋外プール閉業日数 58日間 58日間 58日間 51日間 51日間 58日間									

※1 公園プール(屋外)のピーク時の利用者数は、公園プール全体でのピーク時の数値を採用しているため、個別のプールのピークと異なる場合がある。

※2 上飯田西公園は、平成21年度はこども用プールのみ営業、25mプールは休止。

※3 ( )は、プール以外の利用も含めた施設全体の利用者数

(2) 野外活動施設等

市内の青少年野外活動センターは、積極的な施設PRや利用申請手続きの簡素化、新たなプログラム開発など、利用促進や経営改善等に取り組んだ結果、25年度と比較し、全ての施設において利用者増となりました。

上郷・森の家については、体験学習の受入校数が減少したことなどから、対前年度比2,897人減となりました。

少年自然の家については、赤城林間学園は、新たなプログラムの開発や広報の充実により、一般利用が増えたものの、中学校や青少年団体の利用が減ったことなどから、対前年度比1,139人減となりました。また、南伊豆臨海学園は、震災の影響で一旦減少した利用者が、安全対策の周知により対前年度比で517人増と、回復に転じました。

【野外活動施設等】施設別年間利用者数の推移（平成21年度～平成26年度）

(単位:人)

施設名	所在地	ピーク時		実績						H25/H26		備考			
		年度	利用者数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	増減数	増減率				
野島青少年研修センター	金沢区	H19	53,464	48,876	47,499	18,580	41,031	43,508	46,140	2,632	6.0%	被災者受け入れのための営業休止期間あり(H23)			
三ツ沢公園	神奈川区	H21	26,852	26,852	22,094	17,047	22,163	22,977	24,685	1,708	7.4%				
こども自然公園	旭区	H26	31,527	30,809	29,265	24,161	30,600	30,920	31,527	607	2.0%				
くろがね	青葉区	H21	21,348	21,348	18,971	16,594	17,669	19,095	20,629	1,534	8.0%				
道志		-	-	8,716	8,050	7,221	6,674	H24年度末 廃止							
キャンプ場	山梨県 道志村	H18	4,585	4,442	4,415	3,795	4,009								
スポーツ広場		H20	5,957	4,274	3,635	3,426	2,665								
上郷・森の家	栄区	H19	123,011	108,711	97,667	107,507	101,907	101,479	98,582	▲ 2,897	▲ 2.9%				
赤城林間学園		-	-	38,571	39,319	34,331	40,331	40,630	38,679	▲ 1,951	▲ 4.8%				
学園	群馬県 昭和村	H1	40,069	37,897	38,770	33,540	39,513	39,818	38,679	▲ 1,139	▲ 2.9%				
キャンプ場		S51	19,918	674	549	791	818	812	H25年度末 廃止						
南伊豆臨海学園	静岡県 南伊豆町	H22	31,841	30,309	31,841	30,772	16,197	14,935	15,452	517	3.5%				
計				314,192	294,706	256,213	276,572	273,544	275,694	2,150	0.8%				

※実績は、宿泊者数と日帰り利用者数の合計です。宿泊者数は述べ人数で計算しています。

※ピーク時の利用者数は、把握できる範囲での数値を採用しています。

横浜市総務局行政・情報マネジメント課

〒231-0015 横浜市中区尾上町1-8

電話 045-671-4332

FAX 045-664-5917

ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/gyosei/arikata/>